Tatsunoko
竜の子ファンクラブニュース
No.2 Nov 1978

FAN CLUB NEWS

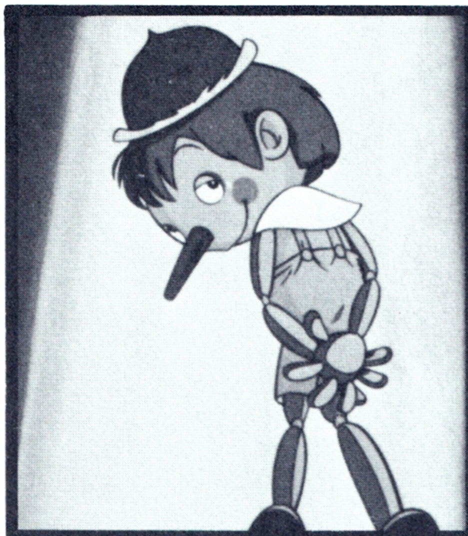
生後、一年も経たない頃の写真です

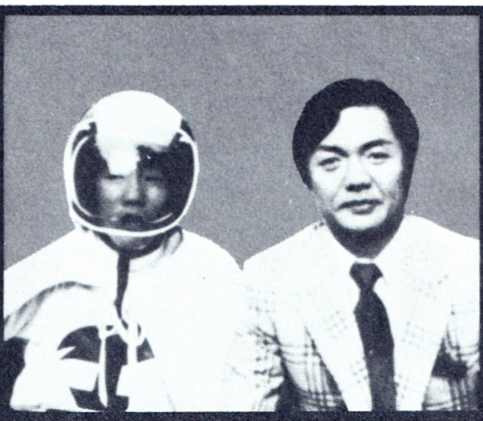
特集!!

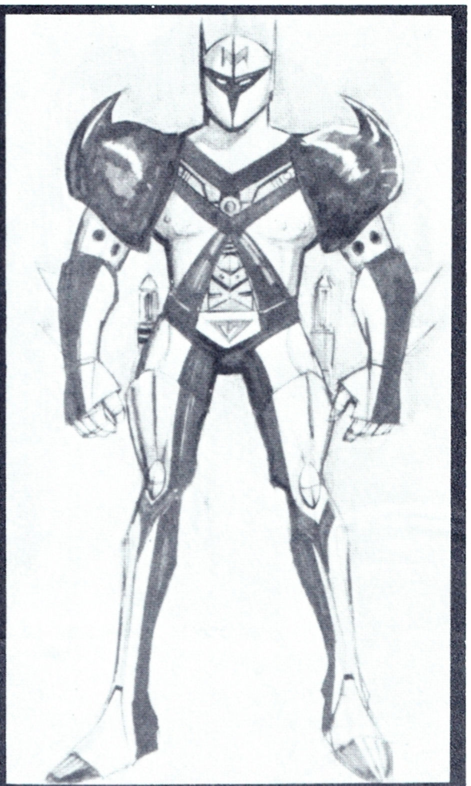
吉田竜夫の世界

画家岩田専太郎の世界に感動し、刺激され画家になることを志した吉田竜夫の生涯を、この特集を通じて、顧みたいと思う。

編集部

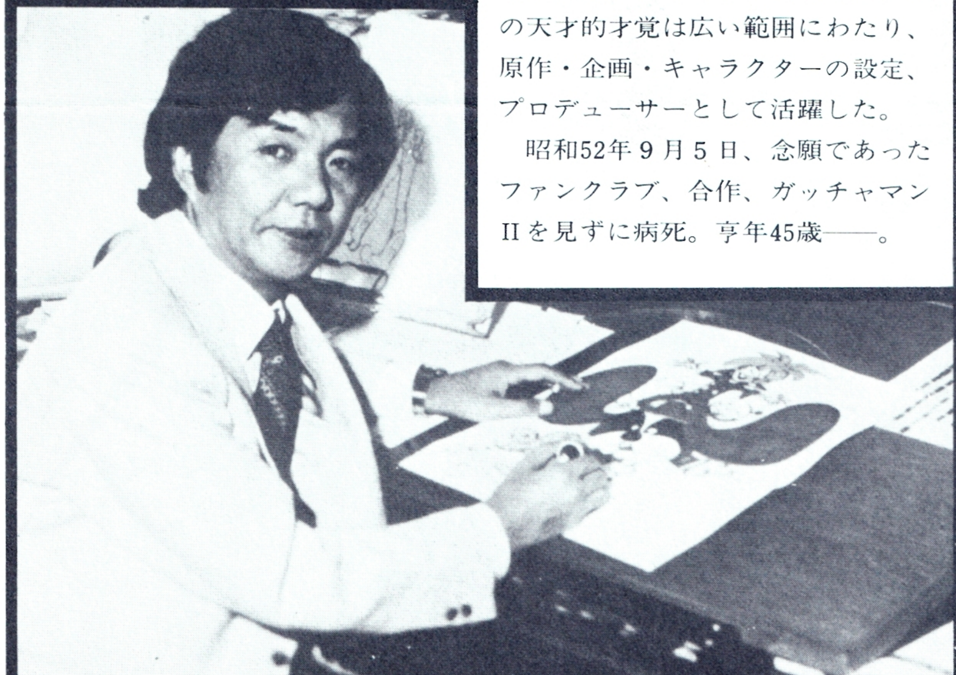






昭和７年３月６日、京都市七条に生まれる。竜の子プロの創設者。その天才的才覚は広い範囲にわたり、原作・企画・キャラクターの設定、プロデューサーとして活躍した。

昭和52年９月５日、念願であったファンクラブ、合作、ガッチャマンIIを見ずに病死。享年45歳——。

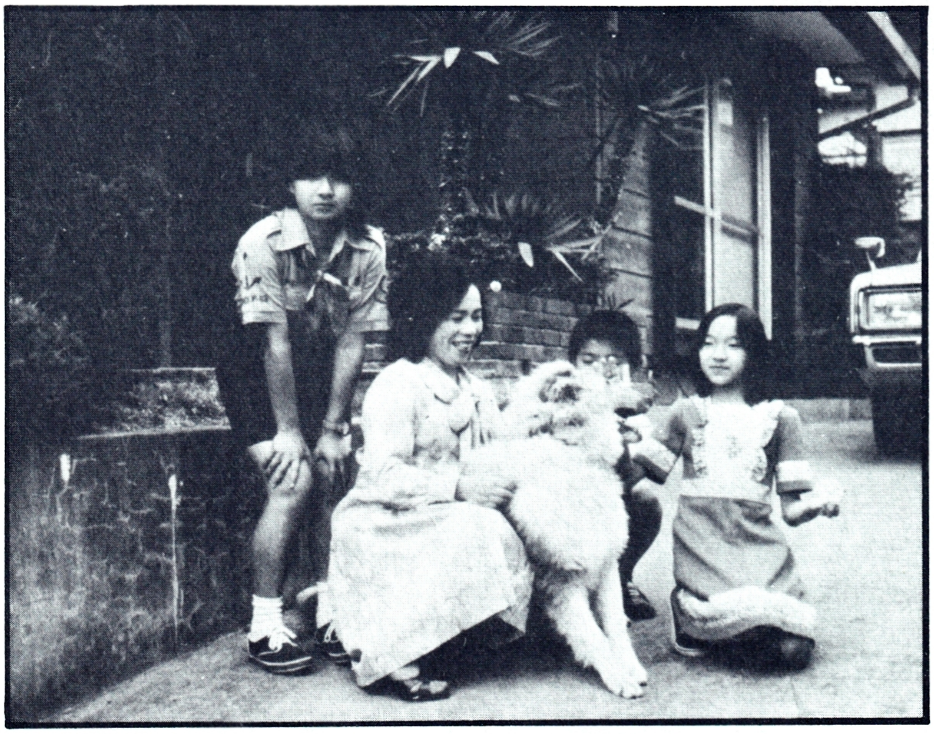


故吉田竜夫特集号によせて

「お父さん、早く元気になって‼」5人の子ども達、竜の子スタッフの切なる願いもむなしく45才の生涯を閉じてしまった夫……さようならも云わず永遠の旅に……。

竜の子プロの創立者でもある、吉田竜夫。かけがえのない人を失って1年余り、一挙に突き落された悲しみの谷底から、まだ完全に這い上がれたわけではありませんが、生前、夫が心血を注いで築いてきた、竜の子プロでお仕事をしていけるのは嬉しい。これとて、夫の弟達(現社長)九里一平さんの思いやりと励ましによるもので、未熟な私に、いったい何が出来るのか、と思うと一沫の不安を感じないわけではありませんが、竜の子プロへ参加することで、スタッフや多くのファンの方々の潤滑油的な役割を果せればと思ってます。

さて、今年の前半は、科学忍者隊ガッチャマンが全国松竹系劇場で上映され、多くのファンに大変喜こばれたわけですが、それにも増して嬉しかったことは、ここ十数年来、ファンクラブ結成を望んでいた故吉田竜夫の希望が実現した事でした。



綾子夫人と竜夫ジュニアです。

作品を愛し、たのしい夢を自分のものだけでなく、みんなの心の中に……。ロマンチストの夫は、何か、イメージがわいてくると、真夜中であろうと熱っぽく語り、自から感動し、そのものに総てをかけておりました。

どうしてこんなに死に急ぎをするのか、せめて、せめて、もう少しこの世にあって、社会に、アニメ文化発展のために尽してもらいたかったのに。今さら、どうすることもできないことのくやしさ、悲しさは、ファンの方ならきっと解って下さると思います。

これからは、私達、残された者が、その遺志をつぎ、そのはたせ得なかった夢を実現させ、竜の子スタッフの人達にその精神を伝えていきたいと願っております。

最後に、これからは、折にふれ、皆様ともいろいろと交流をもち、故吉田竜夫のあまり知られない一面をお聞かせいたしたいと思ってますし、今后、より一層愛される作品を制作していく上で、皆様方の御希望、御意見を作品の中に反映させていきたいと思ってますので、何卒、宜敷くお願いいたします。

吉田竜夫特集号にあたり、皆様方の御健康を祈って、拙筆をおきます。

(吉田綾子)

激情の瞬間

「死」というものが一つの訣別でありながら、死して、はじめて、その人との関係の深さと、その人の生涯の偉大さを考えさせられることがある。それは、死という媒介によって不可視の関係が可視として私達の前に表出してくるのである。秀れた資質の持ち主である吉田竜夫の場合それであった。

創作というものは、自己の生のありようを、作品の中に激情の瞬間としてよびおこすものであろう。この瞬間なくして、創造の可能性も、読者、視聴者にとっても感動は生みだされないのである。

酒を呑みかわすうちに、吉田竜夫が身振り手振りをまじえてみなしごハッチを語り、

――この何んの変哲もない葉っぱの裏側にも一つの世界があるのだよ。小さな虫にも命があり、それは人生にまで匹敵する重みがある。ぼゝぼくは、それを描きたかった。――

熱っぽく語る吉田竜夫は、その時こそ、激情の瞬間であったのかもしれない。すべてのことに好奇心をもってたち向い、知らないということが、くやしさとして自己にもどってくる生来の生癖が少年のように、この激情の瞬間をつかみ得たのである。

私達は、今その生涯を顧る時、熱くこよなく作品を愛し、自らの激情を視聴者に伝える姿が浮ぶのである。

死したといえども、私達には、吉田竜夫の熱き激情の瞬間の血が流れていることを最後に確認しておきたい。

名もない社員のひとりよりの投稿

保存版 漫画家時代の作品から新企画まで

みなしごハッチの高度に抽象化されたキャラクターと、ガッチャマンのリアルなキャラクターとを同時に生んだ吉田竜夫は、やはり、その才能において無限の可能性を秘めていたのであろう。私たちは、ここに師を追憶し、その習作と古き友人であり協力者であった人たちのコメントを掲載いたします。

現在放映しているガッチャマンII前作のパートIに比べて多少なりと技術面でも、ドラマ面でも進歩しているのではないでしょうか。これは今は亡き竜夫が生前発揮したアニメ技術、人間性がガッチャマンIという骨の上に、血となり肉となっているからです。竜夫は死しても尚スタッフ一同と一緒になって、TVアニメを創り続けているんですよ。

吉田健二談

ジュードー・ボウイ

昭和37年「少年ブック」(集英社)で連載。日本柔道家一平が、世界選手権に出場し、活躍する物語。吉田竜夫が構成、九里一平の作画です。

吉田竜夫は、マンガ家というよりむしろ画家といった方がふさわしい。それだけの力量を彼は天性のものとしてもっていた。ラフデッサンといえどもひとつひとつのキャラクターは、それ自体で、ドラマティックに自らを語り、人生を背負っているではないか。

アテネ、フィレンツェ、ベネチア、ケルン、チューリッヒ、パリ、その他の都市を巡って帰って来た私は、絵本、ピクチュア、ポウストカード・童画などを集めてきて、竜夫社長に見せました。その時のこと。すてきな帆船の絵を見た瞬間、それと同じ絵を大事そうに書棚から出してきました。社長も前にヨーヨッパへ行ったとき求めたものでした。その絵の題はウインド（風）と書いてあり、「帆船を走らせるのはきれいな帆ではなく、目に見えない風である。」と解説がついていました。
——アニメーションの作品は目に見えない大勢の人たちの、努力と汗の結晶である——
社長はそう言いながら、この絵を大事げにいつまでも見つめていました。

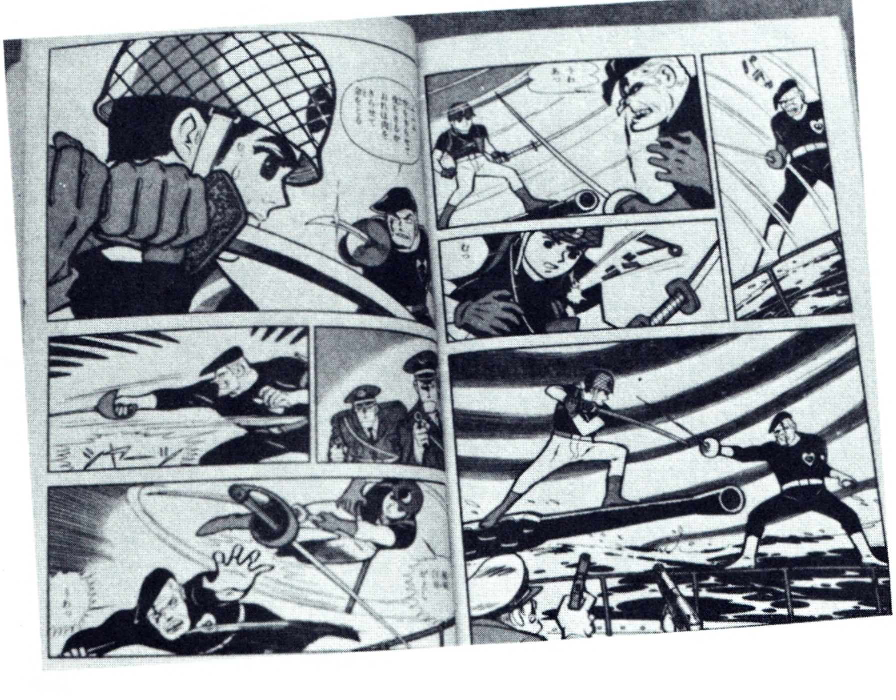
RUNIA・高橋談

パイロットA

昭和36年から４年間少年画報社で連載。パイロットA……英一少年はレーサーの道を目指して、愛車に飛び乗り数々のグランプリ、世界の強豪に挑戦していきます。本作品はのちの竜の子アニメ第２作、「マッハGOGOGO」につながっています。三船剛、サブ・クリ夫のキャラクター原案がここにあります。マシンは"マッハ号"ならぬ"A号"でした。

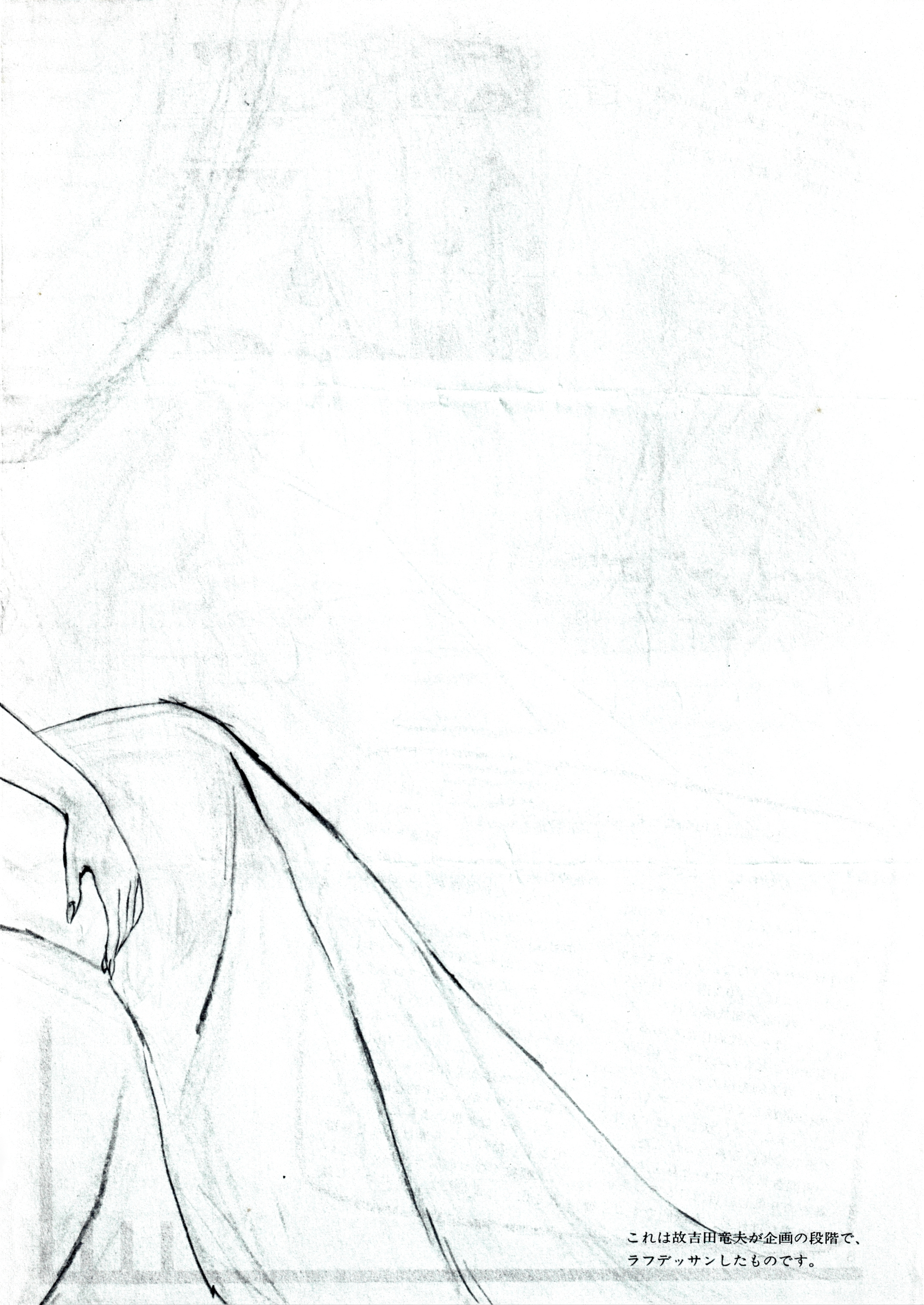
忍者部隊月光

昭和38年から３年間「少年キング」（少年画報社）で連載。少年忍者部隊とは、それは、太平洋戦争当時スパイ養成機関で世界各国へ潜入するスパイ訓練をうけ、特に甲賀流伊賀流の忍法を会得し、科学のすべてをまなんだ少年兵である！　少年忍者部隊は総員８名。月光・月影・月形・名月・三カ月・満月・月蝕・月の輪。のちに実写でＴＶ化され、月光仮面と共に今も人気を得ています。また周知の通り月光は竜の子代表作「科学忍者隊ガッチャマン」の原型です。



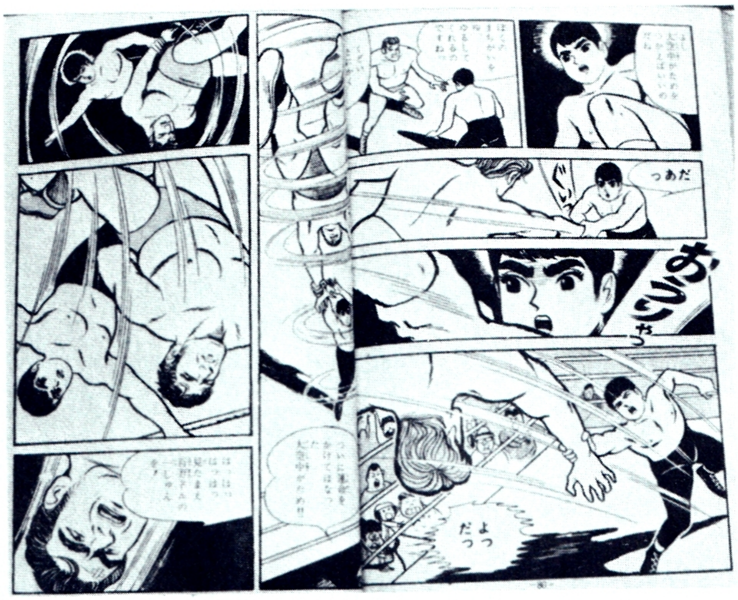
竜の子プロの第一作「宇宙エース」は東映動画でやるはずだったというのはあまりにも有名な話しだけど、その頃僕は原画マン、演出家として東映に出むいていたんですよね。でも脚本から原画まで竜の子でやってるのなら、当然制作、撮影の段階まで全部やりたいっていう気持ちがおこってくるわけで、ムズムズしてたんですよね。そんな時吉田竜夫が背中をポンとたたきふり向きざま、こういったんですよ。「せっかくのオリジナル作品なんだ。最後までやろう」あの一言がなかったら、今の竜の子はなかったし、竜の子の原もいなかったね。でも竜の子アニメを制作してきて、吉田竜夫についてきてよかったですよ。今やアニメ制作は僕の生きがいだからね。

原征太郎談



これは故吉田竜夫が企画の段階で、
ラフデッサンしたものです。

チャンピオン太
昭和37年から３年間「少年マガジン」（講談社）で連載。力道山全盛のころの作品で、プロレスチャンピオンを目指す大東太少年の物語。



いつだったか、前に吉田竜夫とアメリカのディズニープロにいったことがあったんですよ。そこでフランク＝トーマスというアニメーターと面談したわけなんだけれど、その時の吉田竜夫の“目”というのをみんなに見せたかったな。ディズニーアニメといえば「１０１匹ワンちゃん」とか、ついこの間放映された「ダンボ」とかはその代表作品であることは周知のことなんだけれども、そのアニメの大御先祖のディズニープロで現在活躍しているトーマスに会えたということで、話しもはずみすごく感激しているみたいだった。一言一言聞きのがすまいと耳をすまして身をのり出し、目はランランといったら変だけれど、意欲的ですごく輝いていたんだよね。そこには同じ子供たちに夢を与えるアニメの制作者としての共感があって、国境とか肌の色や言葉の違いなんて少しも感じなかったな。だから膝をわって話しができたんだろうし……。

ホテルに帰ったあとも彼の言葉一つ一つ思い出すように語っていましたよ。そしてディズニープロみたいにタツノコプロもしていくんだと意気込みも新たにしてね、夜がふけるまで話しこんじゃったな。吉田竜夫ってのはただの芸術家じゃないんだ。実業的というか、立体的な感覚をもっているんだと思いましたよ。もし生きていたらアニメ界はもっと多様に、幅拡くなっただろうね。おしい人を亡くしましたよ。笹川ひろし談

★制作情報!

科学忍者隊ガッチャマンII

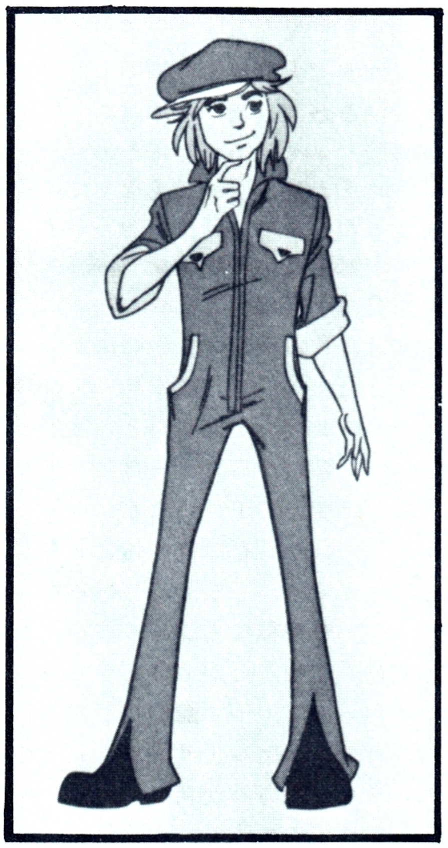
好調に放映

スタッフは、疲労困憊しております。ガッチャマン制作の場合、他の作品に較べ1.5倍から2倍の時間と労力がかかります。キャラクターの動きにしても、デッサンにしても正確さが要求され、それにこたえなければなりません。スタッフは、眠い目をこすりながらも頑張っております。どうか、声援を御願い致します。

1話25.9 2話24.5 3話26.7 4話27.1 5話24.9 視聴率。いずれもビデオリサーチ調べ

制作スケジュール

No.	仮タイトル	脚本	絵コンテ	演出	放映
7	恐怖のミュータント作戦	久保田圭司	布川ゆうじ	原征太郎	11/12
8	月世界の火の鳥	曽田博久	植田秀仁	植田秀仁	19
9	滅亡のベルクカッツェ	陶山智	笹川ひろし	西久保瑞穂	26
10	赤道の雷嵐	山本優	押井守	押井守	12/3
11	戦慄! 黒鳥軍団	山本優	真下耕一	真下耕一	10



タイムボカンシリーズ ヤッターマン

制作スケジュール

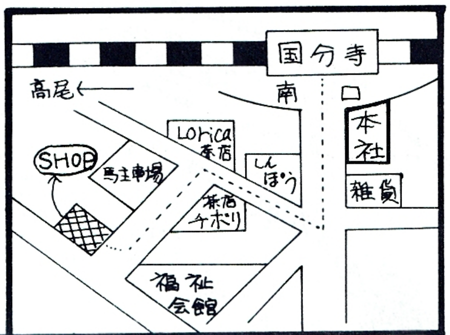
No.	仮タイトル	脚本	放映
100	アーサー王の剣だコロン	鈴木	11/25
101	エンゼルとグレートルだコロン	高木	12/2
102	アレクサンダー大王だコロン	山本	9
103	シュバイツァーだコロン	山田	16
104	ヤシントン大統領だコロン		

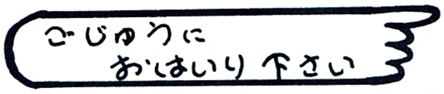
ドクロストンはいかに!?

"ヤッターマン"は好評を得て、今や三年目に突入しようとしているのに、一度もヤッターポーズがとれない三悪トリオ。ボヤキの一つも出るのが人の常か。「なんで美しい私がスカポンタンばーかしなの? こうなりゃ意地でもドクロストン見つけて宝をさがし男をつるからね——!」とはドロンジョ様の御言葉。さてドクロストンとドクベェの正体はいかに。いよいよ大詰のヤッターマン!

☞来年一月いっぱいで終るヤッターのアト番、「ゼンダマン」の鉄ちゃんです。

TATSUNOKO SHOP オープン!!





この度事務局で“TATSUNOKO SHOP”をオープンしました。中央線国分寺駅南口から徒歩5分、国分寺市竜の子村美しの丘にそびえる(?)みなしごハッチドールが看板の可愛いSHOPです。

SHOPには竜の子キャラクターが一面に展示してあります。今となっては実に懐しい、真珠の瞳の少年「宇宙エース」から、最新作「科学忍者隊ガッチヤマンII」までの作品、吉田竜夫直筆のラフデッサン等、みなさんに喜んでいただけるものばかりですよ。

またSHOPは展示が主ですが、ポスター、セル画等の販売もしています。どうぞ手にとって御覧下さい。

SHOPは作品鑑賞、ディスカッションと交流の場にしたいと思っていますので、上京した折など気軽にいらして下さい。

原稿おくれ!

現在の会誌はとても立派なものとはいえませんが、いえいえ会誌は外見ではないのです。充実した内容が勝負どころなのです。“竜の子ファンクラブニュース”なら、竜の子ファンにしかない個性、熱気、そういうものを誌面で表現していきましょう。それには皆さんの意見を是非うかがいたいのです。竜の子アニメの何を知りたいか、見たいか、知らせていただければたいへん嬉しいのですが。そして同時に会員の意見交換の場として、アニメ論、イラスト何でもいいんです。原稿をおくれ! 仲間の輪を少しずつ拡げ、アニメのとことんまで語ろうではありませんか。

GMII放映ありがとう

今回は10/1から放映している「科学忍者隊ガッチャマンII」によせられた熱烈なファンの声を載せました。

この一日、GMIIの初回放送を拝見しました。何ヶ月も前からこの日を楽しみにし、一週間前からそわそわ、夕方5時半からはTVの前から動かず必死になって待ち続け、夢中で見ておりました。なつかしいケンやジョー・ジュン、甚平、竜達とまた会えるなんて、こんな嬉しいことはありませんでした。

■大阪市の竜の子ファンより

GMII見ました!! えーその日は朝の10時から夕方5時まで“GMIIの始まりを祝う”という名目で、アニメ仲間で大騒ぎしたのです。本当すごいさわぎ。朝からぶっつづけで7時間しゃべり通しだったので、の……のどが痛くて、でもとっても楽しかった。あはっ、それから友人の一人が鷲尾のハンコを見つけて、一緒に買おう買おうとせめられまして、ボクは浅倉のハンコをついに買ってしまった。 ■広島 K・H

ジュンとケンが何やらという感じですね、頼むからジョーはぜったいくっつけないで下さいな!! ジョーがくっついたら私は狂い死にしてしまいそうです。もしくっつけるなら私と……♥♥私ならジョーの荒れた心を包みこむことができるから!! なんちゃって…… ■山口 A・M

Gタウン、ゲル・サドラ、新メカ等スタッフの方々が新しいガッチャマンをつくるのだという気持ちで制

事務局だより

地方でも竜の子の輪を

竜の子アニメフェスティバル、試写会、上映会その他の催し物は殆んど東京地区になってしまいます。地方会員には会誌等の郵便連絡以外は何ともできかねる状態でした。これでは申し訳ない。たとえどんなに遠くに住んでいても竜の子会員にちがいはないじゃないですか……!! そこで地方でも竜の子作品に接することができるようにと、ミニ上映会を行います。月一回程度に上映会を催し、作品についてのティーチイン、展示もしたいと思います。そしてこれを機に竜の子作品を研究する会へ発展、皆さんに竜の子を深く知っていただければ光栄に思います。

ミニ上映会は竜の子ファンクラブ地方支部活動として、会員の方に運営していただきます。ここでお知らせを一つ。支部局員の募集をいたします。会員の先に立って上映会手続き、展示会を催し、またフェスティバルの際には協力して下さるバイタリティのある方、どんどんと御応募下さい。その上で支部局運営をお願いいたします。尚、東京は事務局が直接行いますが、その点は御了承下さい。どうぞ多数の御応募を——

スタッフサインプレゼント

往信側に右下の“サインプレゼント”のシールをはり、竜の子スタッフを1名、返信用の宛テ名に住所・氏名を明記した往復ハガキを事務局まで送って下さい。竜の子スタッフが直筆サインをし、返送いたします。制作に忙しい中、普段なかなか皆さんに顔見せできないスタッフ、この機会に憧れのあの人、この人にサインのおねだりをしましょう。ガッチャマンを描く手で記されたサインがお手もとに——。〆切りは、次号会誌、VOL. 3の発行日です。こぞって参加しましょう。

耳よりな話——その1

10月から好調にスタートしているGMII。竜の子ではこのGMIIの放映を記念しメダルをつくります。一生にたったの一度。このガッチャマン放映記念メダルは今回しか出ません。絶対見逃せませんよ。お値段は特別に原価で送料共、500円です。尚、これは限定販売ですので、会員の方一人につき一ヶとなります。

耳よりな話——その2

耳よりな話はまだありますよ。それは竜の子キャラクターが勢揃い、1979年版竜の子カレンダーが発行されるのです。このカレンダー、なんとオールカラーで特製ポスターまでついた豪華版なのです（㊟写真）。お値段は1部800円（市価1,000円）です。通信販売は次の通りです。

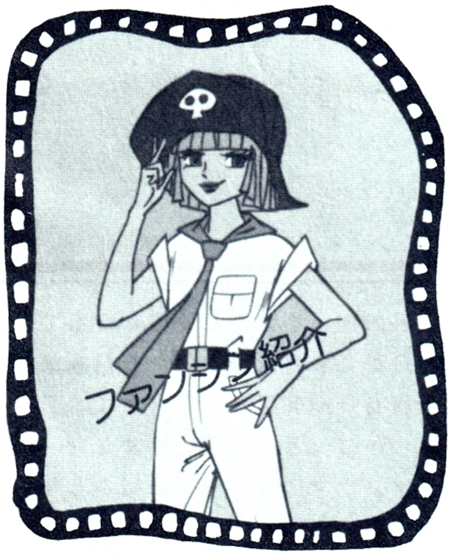
1部　800＋〒200＝1,000円
2部　1,600＋〒300＝1,900円
3部　2,400＋〒300＝2,700円

4部以上お求めの方は地域によって送料が違いますので、事務局までお問い合わせ下さい。

以上のガッチャマン放映記念メダル、竜の子カレンダーのお申込は同封の振込用紙を使用して下さい。その際、メダルとカレンダーは別々の用紙でお願いします。氏名、住所明記の上、代金をそえて郵便局振込窓口まで。現金書留、切手代用はお断り申し上げます。

作なさったのがよくわかりました。回を追うごとに新しい魅力をハッと感じられるような作品にして下さることを期待しております。

■熊本　N・M



▶サークル竜のおとし子
連絡先／794愛媛県今治市蒼社町1－6－51　太田正悟

▶ガッチャマンファンクラブ
アニメは何かという事を考え、allアニメを見守っていく、又、GFC活動を中心として多くの仲間と協力し合い友情を深めていくことを方針としてます。会誌は隔月に発行。連絡先／592高石市東羽衣3－10－11　伊藤さえり

▶アニメ・サークル・BGY
会誌「ANIMANIC STREAM」を隔月発行してます。連絡先／599－02大阪府泉南郡阪南町鳥取538－123　長谷浩子

▶アニメーションファンクラブ
3ヶ月に1回会誌「コンドル」1ヶ月に1回会報「ふえーど」年に1回「大特集号」を発行。連絡先／444－13愛知県高浜市高浜町中根41石川方AFCまで

※事務局会誌宛に手紙を出される際には、支部局員係、FUNFUN係、ファンジン紹介係等明記して下さい。

TATSUNOKO FAN CLUB NEWS NOV. 20, 1978／VOL.1. NO.2 Published TATSUNOKO FAN CLUB.,
〒185 22-12 3-CHOME, MINAMI-CHO KOKUBUNJI-CITY TOKYO, JAPAN.
AYAKO YOSHIDA publisher / AKIRA INOUE editor / MACHIKO YAMAMOTO asistant editor
©1978 TATSUNOKO

編集後記

▶「竜の子のファンは、キャラクターの正確なデッサンに魅かれているのだろうね」と鳥海永行が云っていました。吉田竜夫の特集を編むにあたり、吉田竜夫のデッサン力、表現力には、あらためて驚かされました。

▶事務連絡をひとつ。事務局の不手際もあり、活動が軌道にのらず大変不安と御迷惑をおかけして申し分けありませんでした。これからは、スタッフ一同、全勢力を傾けて運営にあたりますので、宜しくお願い致します。そこで、6月から8月末までの入会者に対しては、9月入会者と同等の扱いをいたします。従って、6月から8月入会者は、2月末まで会員有効期間延長となります。

▶ついに、とうとうやりました。朝日ソノラマに夏の雪辱をはらしました。野球の試合のことです。10月21日、12対3で勝ちました。ほっ。